

第1回新しい学校づくり美馬市・つるぎ町地域協議会議事録

日 時 平成18年9月4日(月)
午後7時から午後9時
場 所 徳島県立貞光工業高校(図書室)

(1) 高校再編方針について

(2) 新しい学校の教育について

委員

資料1の9頁に産業経営科を設置するとありますが、5頁には看護は県西部への配置という言葉があります。看護科の普通科高校(脇町高校、穴吹高校)への配置は議論できないのでしょうか。仮に看護科を配置するにしても商業・工業科の方へ持ってくる考え方なのでしょうか。

県教育委員会

この地域協議会は、美馬商・貞光工業の再編について主眼をおいておりますので、まずは両校の新学科について協議していただきたいと考えています。

協議会は2年間ありますので、他の普通科高校への看護科の配置という要望があれば、その後に、ご協議いただければと思います。

委員

県西部に看護科を配置するという可能性はあるのでしょうか。

県教育委員会

看護教育は富岡東高校で、福祉教育については小松島西高校で実施しておりますので、県南地域ということになります。地元医師会からの要望もあり、再編方針では、地域的なバランスを考慮して、県西部への配置について検討していくこととしております。今回は美馬商業、貞光工業の再編ですので、その中で出てくれば協議していただいて、この2校以外のお話であれば要望として承りたいと考えております。

委員

2校の協議とからめながら取り入れていただければと思います。

参考資料で他県の状況を見ると、商工高等学校となっているが、それが前提となっているのでしょうか。徳島県独自の形を模索する可能性はあるのでしょうか。今の説明では再編というより統合の意味合いが強いように感じます。

県教育委員会

山口県の例が商工になっていますが、山形県では普通科高校を合わせた3校での再編例もありますし、新しく魅力的な学科があればそれも考えていただきたいと思います。ただ、2校を1校にし、元の美馬商工高等学校に戻すというものではありません。

委員

両校の卒業生の県内就職率はどのくらいなのか。

地域では高齢化が進んでいますし、公共事業も減少し、土木業者も他の業種へと形態を変えています。これからもそれが進んでいくと思います。

その中で、実業高校には大企業で求められる人材だけでなく地域で働く人材の育成を目

指してほしいと思います。

また、ただ2校を統合するだけでなく、看護や介護といったものが実業高校にあってもいいのではないのでしょうか。

委員

美馬商業は、昨年度就職者39名のうち16名が県内で就職しています。
県内のビジネス界を支えていける人材の育成を目指しています。

委員

貞光工業は、就職者106名のうち40名が県内で就職しています。
香川、愛媛に就職した生徒も多くおります。

委員

県内で就職できるような教育と併せて、産業経営科を新設しようと考えられているようなので、自分で起業できる教育を進めてほしいと思います。

徳島県出身で徳島の産業を起こしていくような教育があってもいいのではないのでしょうか。

また、両校の伝統を大切にしてほしいと思います。

魅力ある実業高校というのは、地元で就職できる人材を育成することではないのでしょうか。

委員

実業高校を受験する生徒は、まず第1に高卒で就職を希望している生徒です。

また、強い部活動があるところを希望する生徒もおります。これは生徒が高校を選択する際にとっても重要です。美馬商業の陸上部、貞光工業のラグビー、テニス、レスリングなどの特色が保たれるような方策を取っていただきたいと思います。その時に運動施設がそのまま使用できるのかどうか、これまでの施設で大丈夫なのかどうか、その点についても考えていただきたいと思います。

委員

我々保護者の立場からすると、いつ統合するのが最も気になることです。今、幼稚園の子が高校に入学するとき高校がどうなっているのか知りたいと思います。他の保護者に再編時期を聞かれることもありますし、自分の子どもが入学するときどうなっているのかを知りたがっています。

また、他県ではこのような協議会ができてからどのくらいの期間で再編されているのですか。

県教育委員会

お配りした再編方針の13頁をお開きください。再編のスケジュールは、平成18年度、19年度において、地域協議会で御協議いただき、その結果を県教委に御報告いただくこととなります。平成20年度から3年間で両校の学校間連携事業を進めます。その後、条件の整った地域から再編を進め、平成30年度までには5地域での再編を終わらせたいと考えています。

委員

早く進めば、早く再編になるということでしょうか。

県教育委員会

そうなります。

委員

自分の子どもの一人は色々なコースがあっておもしろいと言い、辻高校に。一人は近いからということで貞光工業に通いました。新しい時代にあった科、子ども達が行きたくなる科を設置していただきたいと考えています。

できれば、従来の商業、工業のあり方を引継ぎながら、再編を行っていただきたいと思っています。

委員

中学生が進学する場合、どれだけ魅力を感じ、あこがれて入学するかが重要です。2校がこれまで築いてきた伝統があるので、それを相乗効果的に発揮できるようになればと思います。

委員

息子は貞光工業に通っていましたが、近いし高校を卒業したら就職したいからという理由でした。自分は美馬商業の出身で、夫は貞光工業の出身ですから、どちらも残してほしい気持ちはあります。県西部には商業科も工業科も必要ですので、それを残しながら魅力ある学校をつくっていただきたいと思います。

委員

少子化の進行に対して、再編のスピードが合っているのかということに疑問に思っています。資料を見る限りは、他県ではすでに再編された高校が開校しています。再編のスピードが遅いのではないかと思います。平成30年度までということであれば、今から12年後で、校舎も古くなっていますが、この場所ありきでお考えなのでしょうか。予算のことも含めてこの点についてもお考えをお聞かせ願いたいと思います。

美馬市で昨年生まれた子供は240人です。出生率は1.53と全国平均よりは高いのですが、それでも15年後の高校入学者は240人です。4校から3校、3校から2校というように段階的に再編を進めるのがいいのか、思い切って2校にして、特色ある学校づくりを進めるのがいいのか、その点についてもお聞きしたいと思います。

県教育委員会

早いか遅いかということは時代の流れもありますし、以前から検討はしてはしておりますが、本格的には、検討委員会を設置したのが平成16年度です。平成30年までとなっていますが、地域が早く再編した方がいいという結論を出すのであれば、早く進めることも出来ます。地域によって差が出てくることが考えられますので、全ての地域が一斉に平成30年度ということではありません。

県教育委員会

建物等については現在の校地を基本に、大規模耐震改修の手法も取り入れながら既存の物を活用したいと考えています。

委員

美馬商業がなくなってしまうのかという質問が寄せられることがありますが、かつて美馬商工の時代もありましたので、なくなるのではなく、歴史・伝統を継承しながら、新たな時代に対応した魅力ある学校づくりをしながら再編していくのですねとお答えしています。

将来のビジョンにつきましては、商業科でありますのでキャリア教育を進めていきたいと考えております。ビジネスマナーや文書作成能力、プレゼン能力を育成しながら、職業観、勤労観を養っていきたくと思っています。時代の流れ、多様な進路に対応した教育を推進していきたいと考えております。

委員

委員のみなさんの意見を伺いながら進めていきたいと考えています。

これまでも資格，就職，そして部活動と様々に努力してまいりました。商業科と一緒になるということですから，相乗効果があるよう，魅力ある学校にしていきたいと考えております。

委員

採用者側からしますと，コミュニケーション能力の高さを重要視しています。

人と話ができないことやプレゼンテーション能力が低いこと，自分を表現できないことは問題です。元気がよくて普段の仕事の中で自分の事をアピールできる人材がほしいと思っています。中小企業では人材を育てている時間はないので，即戦力として採用する場合にはそういう能力を持った人材を希望します。地域で就職する人を育てる骨太の人材育成をしてほしいと思います。